

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 12 月 27 日 (2007.12.27)

【公開番号】 特開 2006-230518 (P2006-230518A)
 【公開日】 平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-035
 【出願番号】 特願 2005-46448 (P2005-46448)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	5/04	5 1 2 Z
A 6 3 F	5/04	5 1 2 A
A 6 3 F	5/04	5 1 2 Q
A 6 3 F	5/04	5 1 2 V

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 11 月 12 日 (2007.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を取り込む取込通路と、該取込通路から分岐する排出通路と、前記取込通路の遊技球の通過を阻止又は許容する取込用阻止許容部材と、前記排出通路の遊技球の通過を阻止又は許容する排出用阻止許容部材とを有する取込装置を備え、該取込装置により所定数の遊技球が取り込まれた場合に遊技の開始を許容する遊技機において、

遊技者によって手動操作可能に設けられ、手動操作に伴う動作を前記排出用阻止許容部材に伝達することで、前記排出通路の遊技球の通過を許容するように同排出用阻止許容部材を駆動する排出操作手段と、

前記取込用阻止許容部材により前記取込通路の遊技球の通過が許容されている場合に前記排出操作手段による前記排出用阻止許容部材の駆動を阻止する操作阻止手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記排出操作手段は、遊技者によって直接手動操作される操作部材と、該操作部材と前記排出用阻止許容部材との間に位置し前記操作部材が非操作位置から操作位置へ操作された場合の動作を前記排出用阻止許容部材に伝達する伝達部材とを備え、

前記操作阻止手段は、前記伝達部材を伝達可能状態から伝達不可状態に駆動することにより前記操作部材が手動操作された場合の前記動作を前記排出用阻止許容部材に伝達しないようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記伝達部材を前記伝達可能状態に保持するよう付勢する付勢手段を設けたことを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記伝達部材は複数の構成部材からなり、これら構成部材が前記操作部材側から前記排出用阻止許容部材側に向けて並び、前記操作部材が前記非操作位置から前記操作位置へ操作された場合の動作が前記操作部材側に位置する構成部材から前記排出用阻止許容部材側に位置する構成部材へと伝達される構成とし、

前記操作阻止手段は、前記複数の構成部材のうちの一部を前記伝達可能状態から前記伝達不可状態に駆動することにより、前記排出用阻止許容部材の駆動を阻止するよう構成したことを特徴とする請求項 2 又 3 に記載の遊技機。